

平成21年8月8日 加西市 事業仕分け 結果一覧

事業番号	1	2	3	
事業名	コミュニティバス運行費補助金（市街地循環バス）	水田農業構造改革対策事業事務（転作事務）	市民会館管理運営事業	
H21年度予算額(千円)	10,876	9,150	52,131	
仕分け人評価	不要	1	0	2
	民間	0	1	2
	国・県 (広域を含む)	0	0	0
	要改善	8	7	6
	現状維持	1	2	0
結果	要改善	要改善	要改善	
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・病院へのバスには乗車率が低いので原因を分析して市民に説明すべき。 ・目的を明確にする(福祉か交通不便対策か)。 ・病院専用無料券は廃止すべき。 ・デマンド交通を導入して費用対効果を上げる。 ・市民へのPRを強化する(乗り継ぎ等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市の農業ビジョンを考えると市として関与する必要がある。 ・JAとの役割分担を明確にした上で、市は政策に関わる部分に集中すべき。 ・市の事務作業部分を民間委託する。 ・市の財源充当額を減らすビジョンを策定すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民委員から不要・民間という判定が出たことは重く受け止める必要がある。 ・早急に耐震診断結果を公表し、全市民的な議論を行うべき。 ・耐震補強工事費用を算出し、多額の費用がかかるならば廃止を検討すべき。安全性の確認を優先する。 ・耐震工事計画を立案、市民を含めた検討委員会を設置し、他の施設への機能分担、統合を行う施設仕分けを実施する。 ・稼働率の目標設定をし、努力して上がらなければ廃止を含めた検討をするべき。 ・民間に無償譲渡し税金を使わずに利用率を高める。 ・耐震工事のことを考えると、文化ホールを廃止して健康福祉会館や公民館を有効活用する。 ・コミセン機能を別施設へ移管、文化ホールを健康福祉会館大会議室(ホール)で賄う。 	

事業番号	4	5	6	
事業名	ファミリーサポートセンター事業	給与計算事務	北条鉄道運営費補助金	
H21年度予算額(千円)	1,643	4,202	7,648	
仕分け人評価	不要	0	0	0
	民間	2	0	0
	国・県 (広域を含む)	0	2	0
	要改善	8	4	9
	現状維持	0	4	1
結果	要改善	現状維持	要改善	
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、民で実施すべきサービスであり、期限を決めて社会福祉法人やNPO法人に譲渡し民営化すべき。 ・行政が潜在ニーズの掘り起こしに重点化する。 ・民間委託の為の地域団体等育成を行う。民営化も含めて検討する。 ・受益者1人あたりのコスト削減が必要。・宇仁地区の預り保育に近いことを(有償ボランティアでいいので)実施してほしい。 ・かつて地域が助け合っていた部分を埋めるのがこの事業。現状その環境があるなら公費を投入する必要はないという考え方もある。 ・新しい住民を受け入れる策として促進するのか、あるいは撤退するのか、いずれにしても子育て支援としての明確なビジョンと目標を設定し、達成できなければ廃止する等の線引きが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で非常な努力の成果が伺える。 ・経費はできる限り削減されている。あとは正規職員の仕事を嘱託・臨時職員にシフトする。 ・他市との連携や、庁内事務の統合などでスケールメリットを活かした民間委託の可能性を探り、行政の仕事はシンクタンク機能に特化する。市場化テストの手法を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃の見直しを行い、できる限り赤字を圧縮する事業展開を図るべき。 ・赤字が増えるのであれば廃止の検討をするべき。 ・市民1人300円のコストがかかっていることを、市民にしっかり説明する。 ・利用する高校を含めた利用促進組織を結成して乗車数を伸ばす努力をしてほしい。市民に公開して市民運動化してください。 ・北条鉄道ファンクラブを作る。(年会費2,000円で会報+3往復乗車券を進呈すると、単純には7,500人加入で赤字が解消される。) ・代替バスとの損益比較を行う必要がある。 ・市職員が率先して乗車する。 ・売上を伸ばす為に、期間を決めて一般財源を投入するのは許容する。利用数を増やさないといけない。 ・事務処理をはじめ、全て損失補填を前提にしている。資産を補助金で圧縮したり、修繕引当金を積まない等、第三セクターと言えども、できるだけ民間会社と同じ経理処理にして住民に分かるようにするべき。 	